



五常小 ブログ↓



五常小学校だより

みんなでつくる安心・安全な学校

9月号 令和8年8月25日 枚方市立五常小学校

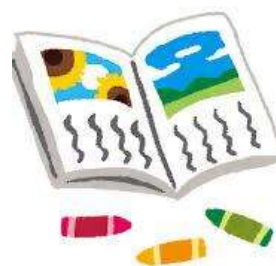
校長 位田 真由子

2学期スタート！ 失敗しても大丈夫！！



長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。静かだった校舎が一気に活気に満ちあふれ、教職員一同、2学期を元気に迎えられた喜びを感じています。

2学期は、一年の中で最も長く、学習や運動、学校行事などを通して、子どもたちが大きく成長する学期です。一人一人が「できた!」「わかった!」「挑戦してよかった!」と感じられる場面をたくさんつくり、自信につなげていきたいと考えています。



本校では、「やってみよう!」と一歩踏み出す子どもを応援し、結果だけでなく、挑戦する過程や努力を大切にしていきます。「失敗しても大丈夫。またやってみよう!」と思える学校でありたいと考えています。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症対策など、子どもたちの健康にも充分配慮しながら教育活動を進めてまいります。二学期も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「学校の〇〇を見れば、すべてがわかる」

2 学期始業式の校長からのお話です。

さて、皆さんにクイズです。

ある学校で、お客様が校内を見学されたとき、学校の中のある場所を見て「この学校の子どもたちは、きっと優しい子どもたちですね。」と言われたそうです。

さあ、お客様は学校の中のどの場所を見て「この学校の子どもたちは、きっと優しい子どもたちですね。」と断言したのでしょうか。

・・・答えは「トイレ」です。そのお客様に理由を尋ねると、「だって、トイレの床がおしっこで汚れてないでしょ。便器もきれいです。トイレトペーパーも散らばっていません。手洗い場のハンドソープの容器もきちんと並んでいます。トイレがきれいなのは、次に使う人のことを考えて使っている証拠です。次の人のことを考えられるのは、子どもたちの心も整っていて優しい子が多い学校です。」と言われたそうです。

勉強の様子を見なくても、休み時間の様子を見なくても、トイレを見るだけで、その学校の子どもたちのことがわかったのだ

す。トイレは、自分だけが使う場所ではありません。次に使う人が必ずいます。

便器にはちゃんと座って、汚さないようにすること。もし、汚しても自分で拭いてきれいにしておくこと。水を流すこと。おしっこやうんちがちゃんと流れたか確かめること。トイレットペーパーがちぎれて散らばってしまったら、すぐに拾うこと。

ほんの少しの心遣いと行動の違いで、次の人が気持ちよく使うことができます。そして、いつも掃除をしてくれている人がいるということも忘れないでください。

トイレを使う様子は、他の人がのぞいて見ることはできません。見えないから、汚く使ってもいいのか、見えないからこそ、きれいに使うのか、人間の価値はこんなところで決まります。トイレを大切に使うことは、人を大切にすることです。

校長先生は「この学校のトイレは気持ちがいいですね。」と言われる学校にしたいです。

今日からトイレを出る前に、一度、振り返ってみてください。「次の人が気持ちよく使えるかな。」「掃除してくれる人が嫌な気分にならないかな。」

2学期からは、そんなふうに考えながらトイレを使ってほしいと思います。枚方一きれいなトイレの学校、めざしましょう。



「備える力」を

7月28日(火)に、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、多くの方々が被害に遭われました。また、千葉県では8月13日(木)からの豪雨により甚大な被害がもたらされました。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

自然災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。だからこそ、「自分の命は自分で守る」という意識を日頃から育てていくことが大切です。

学校では、避難訓練や防災学習を通して、災害が起こった時に落ち着いて行動できる力を育てています。しかし、学校だけでなく、ご家庭との連携が欠かせません。

9月1日は防災の日です。この機会に、ご家庭でも災害時の連絡方法などについて話し合っていただければ幸いです。「備えあれば憂いなし」という言葉のとおり、日頃からの備えが大切な命を守ることに繋がります。

学校でも引き続き、日頃の備えと訓練を「自分ごと」として考えられる子どもたちを育てていきたいと思っています。



ゲリラ豪雨など急な大雨への対応について



近年、短時間に激しい雨が降る「ゲリラ豪雨」や線状降水帯の発生など、予測が難しい気象現象が増えています。登下校の時間帯に急な大雨や雷が発生することもあり、子どもたちの安全確保がこれまで以上に重要になっています。

「レベル3大雨警報」等が発表されていない場合でも、局地的な激しい雨や落雷、道路の冠水などにより、安全な登下校が難しくなることがあります。学校では、気象情報だけでなく、その時々天候や通学路の状況も踏まえ、子どもたちの安全を最優先に判断してまいります。

下校時に、激しい雨や雷の発生がある場合には、一時的に学校で待機させるなど、状況に応じた対応を行うことがあります。そのため、通常より下校時間が遅くなることもありますが、安全のためご理解・ご了承いただきますようお願いいたします。

また、登校前に警報等が発表されていない場合であっても、ご家庭周辺の状況から保護者の皆様が「安全な登校が難しい」と判断さ

れた際には無理に登校させず、学校までご連絡ください。

ご家庭におかれましても、日頃から通学路の危険箇所や避難できる場所について、お子さまと確認していただければと思います。

学校では、今後も子どもたちの命を守ることを第一に考え、気象状況に応じて迅速かつ適切な対応に努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします

熱中症予防について

学校では、暑さ指数(WBGT)を活用しながら、屋外活動の内容や時間を見直したり、必要に応じて活動を延期・中止したりするなど、安全を最優先に判断します。また、こまめな水分補給のための声



かけや職員室でのミネラルウォーターの補充、エアコンを適切に使用した教室環境づくりなど、子どもたちの体調管理に努めています。

ご家庭におかれましても以下のことについてご協力をお願いします。

熱中症予防のためのお願い

- ① 十分な睡眠をとる
- ② 朝食をしっかり食べる
- ③ 朝の健康観察（体調が思わしくないときは無理をして登校しない）
- ④ 水筒の用意（多めにお茶やお水を入れてあげてください）
- ⑤ 帽子をかぶる（帽子がないと、休み時間、外で遊べません）

茶々丸が静かに旅立ちました・・・



夏休み中の8月18日(火)の午前、
学校で飼育していたうさぎの茶々丸が亡
くなりました。

この日、日直の教員が飼育小屋の掃
除をしようと茶々丸の様子をうかがうと、
ぐったりと横たわったまま、静かに息を引
き取りました。

当日勤務していた教職員たちで手を
合わせ、天国におくりました。

正確にはわかりませんが、茶々丸はおそらく10歳以上で、人間でいうと
立派なおじいちゃんでした。大往生だと思います。

飼育委員の子どもたちが毎日、お世話をしてくれていました。みんなの
やさしさに包まれながら長生きできました。

子どもたちにとっても、茶々丸は癒しの存在でした。いつもそこに居てく
れて、黙って励ましてくれるかわいいうさぎでした。

茶々丸、今まで一緒にいてくれて、どうもありがとう……………。